



## 1) ◆10回目を迎えた Fresh Concert◆

- |                                     |       |       |
|-------------------------------------|-------|-------|
| A) 若い音楽家の方々へ                        | 中島 洋一 | P. 2  |
| B) Fresh Concert「CMDJ」、第10回を迎えて     | 助川 敏弥 | P. 4  |
| C) コンサートへの期待                        | 吉田 泰輔 | P. 5  |
| D) フレッシュコンサート10周年に思う                | 西山 淑子 | P. 5  |
| E) フレッシュコンサート10年に                   | 高島 和義 | P. 6  |
| 2) Fresh Concert -CMDJ2012-プログラム    |       | P. 7  |
| 3) Fresh Concert -CMDJ2012-の出演者に訊く! |       | P. 8  |
| 4) フレッシュコンサートの10年を振り返って             | 中島 洋一 | P. 16 |
| 5) 過去9回の Fresh Concert 演奏者&演奏曲目一覧   |       | P. 18 |
| 6) 本年5月以降の日本音楽舞踊会議のコンサート案内          |       | P. 27 |
| 7) 編集後記                             |       | P. 30 |



昨年度の舞台から プーランク作曲『六重奏曲』を演奏する出演者たち

# 若い音楽家の方々へ

作曲 中島 洋一

今年は、日本音楽舞踊会議にとって、創立50周年の年に当たります。また、2003年に第1回が開催され、毎年続けられている「Fresh Concert CMDJ」にとっても、10回目の節目の年となります。50年前というと、私はまだ音楽大学の学生で、日本音楽舞踊会議という音楽文化団体の存在すら知りませんでした。この半世紀の間に世界も、日本も大きく変わりました。世界の歴史を見渡すと、人類初の月面旅行、ベトナム戦争、ソビエトと東ヨーロッパ諸国の社会主義体制の解体など、我が国では、学園紛争、高度経済成長、バブルの崩壊、オウム真理教事件、阪神大震災、そして昨年の中東大震災など、色々大きな出来事がありました。どの出来事が強く思い起こされるかは、それぞれの人によって異なるでしょうが、日常的な存在となり、あまり意識しなくなったパソコン、携帯電話やインターネットの普及なども、我々の生活を大きく変える要因になっているのかもしれない。若い方々の記憶のページは、せいぜい四半世紀分が書き込まれただけでしょうが、私のような年配者となると、半世紀を遥かに超える記憶が書き込まれています。その一コマ一コマを思い起こしてみれば、世の中全体の出来事だけでなく、自分自身の身の回りに起こった出来事も色々と蘇って来ますが、それでも、自分が過ごして来た時間がそう長くはなかったような気がしてしまうのです。

「Fresh Concert CMDJ」も10年経つのに、第一回目の出演者の方々の顔やお名前が、ついこの間のことのように浮かんで来ます。10年前に青年だった方は、今は立派な壮年になられている筈です。どうも年を重ねるにつれ、時間が短く感じられて来ようようです。トーマス・マンだったでしょうか、「楽しく充実した時間は、その時はほんの瞬間に感じて、後で思い起こすと長く、退屈な時間はその時はたまたま長く感じられても後で思い起こすと短く感じられる。」と言っていたような気がします。私は時間を浪費して、年を取ってしまったのかもしれませんが、失った時間はもう取り戻せません。この後どれだけ生きられるか判りませんが、とにかく、前を見ながら、やりたいこと、やり残したことを、自分が出来るまでやり続けようと考えています。

若い人たちは、時間という財産をまだ沢山持っています。羨ましく思いますが、その財産は油断していると、意外に早く消費してしまうものなのです。どうか、充実した時間を過ごしていただきたいと存じます。

昔、先輩の先生と学生の創作オペラサークルを指導したことがあります。学生達はこのんびりしていたし、作品はかなり難しいので、ちょっと無理じゃないかという気がしたのですが、公演が一ヶ月後に迫った頃、部長から「学生だけで話し合いたいので先生方は席を外して欲しい」という申し出がありました。話し合いの後、先生方に対



# 「Fresh Concert CMDJ」、第10回を迎えて

作曲 助川敏弥

この会が主催する「Fresh Concert CMDJ 2012」が開催される。4月13日、18時30分開演、会場はすみだTriphonyの小ホール。

このシリーズは2003年に第一回が開かれたから今回は丁度10年目、第10回目となる。この間に多くのすぐれた新人が舞台に登場し世に出た。今回は、出演者は11人、毎回、声楽とピアノが多いが、これは自然な結果で、専攻者の絶対数が多いことの反映であろう。第一回目から昨年まで、出演者の演奏水準は次第に向上してきた。これは、すぐれた人材が出演するようになったのか、あるいは、この国の音楽水準全体が暫時上昇した結果の反映であるのか、両方の推測ができるが、おそらく後者であろう。

この企画の趣意は、いうまでもなく、新人たちに演奏会での実経験の場を持ってもらうことである。音楽演奏では、本番の経験を重ねることが進歩のため不可欠となる。どんなに練習をきびしくして、しかも、回数を重ねても、実践、実戦こそは不可欠の進歩の場である。実戦経験がなければ眞の実力とその向上は得られない。この点は、スポーツ選手や兵士も同じである。野球でもサッカーでも相撲でも、猛練習猛けいこをきびしく繰り返しても実戦の代りにはならない。本番ではやり直しは出来ない。時間との勝負である。時間の進行にすべてを賭ける体験を繰り返すのが本番である。今回はヴァイオリン、トランペットの出演もある。そして、歌とピアノも、曲目が平俗なものではなく、きびしく選択されたものになった。

新人たちにぜひ告げておきたいことがある。現代はコンクール主導の時代である。その結果、競争での勝者が世に出る。勝ち組である。そのため、勝った者の声だけが聞かれることになる。しかし、世の中は勝組だけではない。敗者もいれば傷ついた人もいる。悲しんでいる人もいる。競争主義の世の中ではこうした側の人の心が、歌われ、聞かれることがなくなったか、ごくまれになった。まことに嘆かわしい。音楽界も資本主義の競争原理が浸透してきたのである。若いひとたちは、競争に勝たねばならぬが、勝者ではない人の心を慰め癒すことも音楽の大事な使命であることを心に念じてほしい。

(すけがわ・としや 本会代表理事)

# コンサートへの期待

音楽学 吉田 泰輔

きびしい寒さをくぐりぬけ、ようやく花の季節がやってきました。草花の息吹と共に、人に時の区切りを意識させる頃でもあります。今は、時代の雰囲気や文化を活力に満ちた肩に背負い、未来に向けて羽ばたこうとする若い世代にとって、格別の意味を持つ時ではないのでしょうか。この時期は人生に一つのクライシスをもたらしますが、それと同時に、血肉となった修練の積み重ね、開き始めた自らの世界を世に知らしめる格好の機会をも提供してくれます。このコンサートも、若い表現者にとって、そうした機会の一つではないでしょうか。

このコンサートを形容する「フレッシュ」の含意は、おそらく年代的なものを核としているのでしょうか。この年代の持つ「フレッシュ」さ、これはそれ自体魅力あるものです。しかし、私たちがいつまでも身体的に「フレッシュ」で在り続けるのは難しいことで、この意味での加齢や老は不可避です。しかし、精神的な「フレッシュ」の衰弱を押しとどめるのは、それぞれの人間力に掛かっています。年齢を重ねても、その表現に接して、人々が「フレッシュ」を感じずかどうかが、その表現者が『プロ』と認められるかどうかの重要な契機となるのではないのでしょうか。出演者の皆さんが、このまたとない機会を、それぞれのプロへの道程の一里塚とするべく力量を存分に発揮されることを期待しております。

(よしだ・たいすけ 音楽学 国立音楽大学 名誉教授)

## フレッシュコンサート10周年に思う

作曲・エレクトーン 西山 淑子

フレッシュコンサートが10周年を迎えるとは、時の流れの速さに驚いております。いつの間にか、出演者の皆さんの『母』の年齢になってしまいました。毎年司会を仰せつかって、若い方達のエネルギッシュな演奏に触れる度に、「私もこんな頃があったなあ・・・」と思いつつも、「負けてはいられないっ！」という気も頂いています。

この10年、特にパソコン周辺機器の進化とそれに伴う情報量の増加、速さは、本当に目まぐるしく変化しました。世の中どんどん変わっているのに、ほとんど変わらないのが、出演者のコメントです。演奏のあと、必ず恒例のインタビューをしますが、『将来の夢は?』と聞くと、申し合わせたように大抵は『もっともっと精進して、世の中の役に立つ事をしたい』というような事を仰るのです。それでいつも思うのは、ぜひともみんな同じではなく、自分にしかできないやり方で役に立ってほしいな、という事です。今、音楽で生きてゆくのは、本当に大変ですが、演奏家が世の役に立つ方法は、聴衆にたゆまぬ精進の結果を聞いて頂いて、感動や生きる力を感じて頂く、それしかないように思います。この事は、去年の震災後の音楽家たちの様々な活動で

も証明されました。

そのために、どんなに便利な時代になっても変わる事のない、『楽器を演奏する』という人間にしかできない能力を伸ばし続けて行ってほしいものです。何でも機械やパソコンに頼ってしまい、本来持っている人間の能力がどんどん減退してゆくような生活だからこそ、体を使って自分を表現出来る私たちは幸運だとも思います。誰もが心豊かに生きてゆける時代をぜひとも若い皆さんに作って行ってほしいと、『母』は期待しております。

最後に、10年間この企画をプロデュースし続けてこられた、中島洋一氏に賞讃と感謝の意を表したいと思います。今後も末永く続く事を願ってやみません。

(にしやま・よしこ 本会作曲部会員)

## フレッシュコンサート10年に

オーディオ 高島 和義

いみじくも本会が創立50年を迎えた年に、新企画と思っていたフレッシュコンサートが10回を迎えた。

日本経済がバブルの崩壊とやらで、現在ほどではないが芸術分野への援助が極端に少なくなり始めたあの頃、経験の少ない若い演奏家の演奏活動を何とか援助したいと、従来本会が歩んでいた、成熟した演奏家の演奏会に加えて、若手に限った演奏会を企画したのは現在の本誌編集長である中島洋一理事だった。

初期には、会そのものも知名度が低く集客にも苦しんだが、出演者達の演奏グレードの高さにも支えられ順調に伸び、今までに延べ130人余の演奏家がこの舞台に乗られたことになる。大げさかもしれないが本会の目的「文化創成」をこれから担ってくれる人々を輩出できる「看板公演」の一つとなり得たと報告できる喜びを得た。

経済情勢の悪化は増すさなかで、より演奏機会の減る若い有能な演奏家のために、本会ではこのコンサート参加年齢制限をはずして、優れた演奏力を持ちながら機会に恵まれない方達を…、と始めた「若い翼によるCMDJコンサート」も好評のうちに今年5回目を迎える。いずれの公演も、若い情熱あふれた演奏に数々出会える。

これらの才能ある若い音楽家が、音楽を志し続ける事が出来る機会を一寸でも提供出来る裏方になればと、今後とも大きく応援してゆきたい。

本誌読者の皆さんにも是非これらの会にお運びいただき、若さあふれる音楽を堪能されたいと願います。

(たかしま・かずよし 本会事務局長)

# “Fresh Concert” — CMDJ 2012 —

## ～より豊かな音楽の未来をめざして～

原田 智代 (ソプラノ) ピアノ：神原 あゆみ  
ドビュッシー 『バンヴィルの7つの詩』から “夢想”、“雅な宴”  
C. Debussy 「Sept Poèmes de Banville」～ ”Rêverie”, “Fête galante”  
ドリーフ “カデイスの娘たち”  
L. Delibes “Les filles de Cadix”

山上 由布子 (ピアノ)  
ショパン 2つのノクターン 作品 27-1、2  
F. Chopin 2 nocturnes Op.27-1,2

箕浦 綾乃 (ソプラノ) ピアノ：永井 英里香  
バーンスタイン 『キャンディード』より “きらびやかに着飾って”  
L. Bernstein [Candide] ～ “Glitter and be gay”

西尾 自由梨 (ピアノ)  
アルベニス 『イベリア』より セヴィーリヤの聖体祭  
I. Albéniz [IBERIA] ～ El Corpus-Christi en Sevilla

城 佑里 (ソプラノ) ピアノ：斎藤 亜都沙  
チマーラ 「愛の神よ、ようこそ」  
P. Cimara “Ben venga amore”  
ベッリーニ 歌劇『清教徒』より “あなたの優しい声が”  
V. Bellini [I Puritani]～ “Qui la voce sua soave”

栗津 惇 (ヴァイオリン)  
イザイ 無伴奏バイオリンソナタ第3番 (バラード)  
E-A. Ysaÿ Solo sonata for Violin no.3 <Ballade>

----- 休憩 -----

高荒海 (Tp. I) / 三嶋雪音 (Tp. II) / 古田龍平 (Horn) / 青木昂 (Tbn.) / 高橋秀和 (Tuba)  
トーマス 「ストリート ソング」  
M.T. Thomas [Street Song]

柏木 沙友里 (ソプラノ) ピアノ：斎藤 亜都沙  
グノー 歌劇『ファウスト』より トゥーレの王～宝石の歌  
C.F. Gounod [Faust] ～ “Il était un roi de Thulé ～ Air des bijoux”

林 聡子 (ピアノ)  
ラフマニノフ コレツリの主題による変奏曲 作品42  
S. Rachmaninoff Variations on a Theme of Corelli op.42

三井 清夏 (ソプラノ) ピアノ：岡本 知也  
ヴェルディ 歌劇『椿姫』より “ああ、そはかの人か～花から花へ～”  
G. Verdi [La Traviata] ～ “Ah! fors' è lui ～ Sempre libera ～”

小林 啓倫 (バリトン) ピアノ：三品 萌莉絵  
レーヴェ “オルフ氏” C. Loewe “Herr Oluf”  
ビゼー 歌劇『カルメン』より 闘牛士の歌  
G. Bizet [Carmen] ～ Votre toast, “je peux vous le rendre”

司会：西山 淑子

2012年4月13日 (金) 18:30 開演 (18:00) 開場  
すみだトリフォニーホール 小ホール

## Fresh Concert -CMDJ 2012-の出演者に訊く！

Fresh Concert は本年、第10回目を迎えました。第1回～第4回までは座談会を開いて記事にしておりましたが、なかなか全員が集まれないので、第5回目からは幾つかの質問項目を用意し、その回答をこの雑誌に掲載するようにしています。昨年はこのコンサートの始まる約一ヶ月前に東日本大震災に襲われたのが、今年は、(3.)に東日本大震災に関する質問を加えました。また、(5.)も、新しい質問項目です。(1. 2. 4.)は昨年と同じです。(6.)は一昨年にあったものを復活させました。

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。
2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。
3. 東日本大震災について、何を感じ、何を考えましたか。
4. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？
5. 一生のうちに経験しておきたいこと、経験したくないことは？  
(音楽に限らず、なんでもよいです)
6. あなたの長所と欠点を上げて下さい。
7. その他(書きたいことをなんでも書いて下さい。書かなくともいいです)

出演者の方々の回答を読むと、さすがに(1.)のメッセージは例年通り皆さんが力を入れて書いておられますが、今年は特に(3.)の大震災については、被災者の方々に同情しながらも、そういう人達のために、なにもしてあげられない無力感などが正直に書かれておりました。また大震災を通して、改めて今生きている時間の大切さを噛みしめた。というようなことを書いた人もいました。いま特に何か出来なくとも、他人の悲しみや不幸に心を動かされる気持ちだけは忘れずに持ち続けていたいただきたいと思います。(5.)については、なかなか行けない遠い所への旅を経験したいという回答が多かったようです。月旅行といった微笑ましいものもありましたが、一生に一度は子育てを経験したい、という素朴な願いもありました。経験したくないものとしては、愛する人との別れ、病気、怪我など、誰もが願わないものが上げられておりました。しかし、願ったものが適えられず、経験したくなかったことを経験してしまうのも人生です。もし、経験したくないことを経験しても、それを乗り越え、人生の糧としていただきたいと思います。それでは、出演者のみなさんの回答を、演奏順に紹介させていただきます。

なお、ページ数節約のため、質問事項の重複掲載は避け、回答のみを掲載させてもらいました。それから、金管五重奏については、都合で個別に二名の方から回答をいただきましたので、二名の方のみ掲載させてもらいました。出演者の写真につきましてはプログラムのページに掲載しておりますので、そちらを併せてご覧頂きたいと存じます。

なお今回のコンサートに対して過去の出演者の方々からもメッセージを載せていますが、掲載許可を取っていませんので、お読みになりたい方は、『月刊：音楽の世界』2012年4/5月号をお読みください。

## ① 原田 智代 (ソプラノ)



1. それぞれの作品の魅力を、ホール中に楽しんで響かせたいです。ドビュッシーの二曲は、作曲家の初期の作品で、爽やかでとても若々しいです。ドリーブの「カディスの娘たち」は、曲想が変わり、ビゼーのカルメンのような魅惑的な旋律がかかれています。ドリーブの「カディスの娘たち」は、普段の私の性格から離れているキャラクターなので、自分の中から引き出して演じられたらと思います。

2. 音楽は私を元気づけ幸せにしてくれるもの。常に私の中にあるものだと思います。

3. 人生は一度しかないと感じました。今できること、またやりたいことはやっつけようと思いました。

4. ラヴェルの歌曲。プッチーニの歌劇「ラ・ボエーム」のミミ。

5. オーロラを見にカナダに行きたい。

スキューバダイビングの資格を取って、南国（フィジーとか）の海に潜ってみたい。

経験したくないことは、何か大きな事件とかには巻き込まれたくない。

6. 長所は、探求心があつていろいろ興味をもつこと。短所は、三日坊主で続けることができずあきらめてしまうこと。

## ② 山上 由布子 (ピアノ)



1. フレッシュコンサートに出演させて頂けること、大変嬉しく思っております。このような素敵な機会を与えられたことに感謝し、今の自分にできるピアノ演奏でお返ししたいと思っております。そして、この曲でショパンが伝えたかった感情を、少しでも舞台上で表現できるよう、努力していきたいです。

2. 悩みや苦しみ、感動や喜びを与えて人を成長させてくれる、不思議な魅力のあるもの。

3. 昨年の3月11日の大震災で、突然に命を失われてしまった方々へのご冥福をお祈りいたします。今回被災した東北は、母の故郷であり、私自身も何度も訪れたことのある場所です。実際に、去年の6月に気仙沼へ足を運び、慣れ親しんだ街を見て参りました。

そこには何もありませんでした。あるのは瓦礫の山と海だけです。すでに亡くなった祖父母との思い出の場所も無く、涙しかでませんでした。しかし、ここで立ち止まらず、全ての人が、一つひとつ確かな毎日を過ごすことが、復興への道につながると考えております。

一人ひとりのやさしさが、大きな力となりますように。

4. バロックから古典派の時代のもの。構造を理解してじっくり勉強したいです。

5. 考えても思いつかないのですが…。

経験できること、できないこと、どちらも自分の人生にとって必要なことだと思って生きていこうかな…。経験したいことがあったら、自ら行動して経験できるように努力したいです。

6. 長所も短所も、石橋を叩いて渡るところだと思っています。

## ③ 箕浦 綾乃 (ソプラノ)



1. この度は、このような演奏会に出演させていただき、ありがとうございます。大学院でお世話になった先生方、友達、私を支えてくれたたくさんの方々、そして今日ご来場いただいた方に感謝の想いをこめて、演奏させていただきたいと思います。大学院では、たくさんの先生にご指導を受ける機会があり、その時は消化できなかったことも含め、歌を歌う上で大事な基盤となるものをたくさんいただいたように思います。これからは、その基盤をもとに、学んでき

たことを活かしつつ、発展させて、新たなものを探していく時期になるのだと思います。そのための第一歩として今日のようなコンサートで、たくさんのお客様に聴いていただけることは、私にとって至上の喜びです。

今日歌わせていただくのは、《キャンディード》よりクネゴンデの aria “きらびやかに着飾って”です。わが身の不運を歌うなかでも、今ある状況を楽しんじゃうというのはとても人間らしいというか、女性らしいというか…明るさと強さでもって幸せを掴みとる彼女の生き方に私の方が元気をもらっています(笑)皆さまにも彼女の心が届いて、少しでも楽しくなっただけですよう、精一杯歌わせていただきます。

最後になりましたが、学部から6年間私を見守り、本当の歌は何かということをお教えくださった小泉先生、そして私を長年支えて続けてくれたピアニストに、格別の感謝を申しまして、結びとさせていただきます。

2. 私にとって音楽は、いつでも共にあって、喜びや苦しみや、人生の様々な色を教えてくれる美しいものです。歌という形で音楽に触れられることを、本当に幸せに思います。

3. 一番感じたのは無力感でした。まったく予想もしていない出来事で、ある日突然、大切な家族や故郷を失った方の気持ちは想像するにあまりあります。自分が今やっている音楽に、虚しさを感じた時もありました。ですが、まだ震災からいくらか経っておらず、支援もままならない頃、ある番組で紹介された被災者の手紙の中に、『毎日大変ですが、昨日、千昌夫さんが避難所に来て、歌を歌ってくれました。歌って、いいですね。』という言葉聞き、被災された方に私ができることもあるかもしれないと思いました。

まだまだ復興には時間がかかると言われていますが、私は自分にできる最大限のことで、復興の力になりたいと思っています。

4. オペレッタが好きなので、まだ日本で無名なオペレッタをたくさん発掘したいです。後はフランス歌曲、特にラヴェルに興味があります。またこれは野望ですが、いつかシャンソンの勉強もしてみたいです。

5. 経験したいことは、世界放浪と月までの宇宙旅行(笑)。経験したくないことは、なんでしょうね…バンジージャンプとかですかね。

6. 長所は、人のいいところを見つけるのがうまいこと、短所は自分のいいところを見つけるのが下手なことでしょうか(笑)。

#### ④ 西尾 自由梨 (ピアノ)



1. この度はこのような素敵なコンサートに参加する機会をいただき、とても有難く思っています。いつも真摯に向き合って指導して下さる先生をはじめ、家族、友達、かかわるすべての皆様に感謝の気持ちを込めて弾かせていただきましたと思っています。

2. 生活の一部です

3. 未曾有の大震災から早1年が過ぎましたが、まだまだ被災地の方々は困難な状況で生活されていることと思います。原発の問題も山積みです。

とくに被災のない地域でのうのうと暮らしている自分はなんなんだろうと、何もできない無力さにもどかしい思いでいっぱいです。

しかし、いつか必ず被災された皆様が元の生活を送れるようになることを信じています。

私は幼少のころ阪神淡路大震災の被害を受けましたが、あれだけの被害を受けた神戸でも、16年ほどかけて復興することが出来ました。

被災地の方々が本当に笑って過ごせる日が来ますよう、心からお祈り申し上げます。

4. 色々なジャンルに挑戦してみたいです

5. 地球上のいろんな場所に旅してみたいです
6. やると決めたらすぐ実行することが長所です。逆に、興味・関心のないことは必要であってもすぐ忘れてしまうことが短所です。

## ⑤ 城 佑里 (ソプラノ)



1. この度は、このような素晴らしいコンサートに出演させていただく機会を与えて下さり、心より感謝致しております。今回歌わせて頂くのは、歌劇《清教徒》よりエルヴィーラのアリアです。この曲は、私にとって、とても良い課題となる曲でした。前半の美しい旋律もさる事ながら、特に後半の軽快なカヴァレッタは非常に技巧的なものとなっており、聴きごたえ十分な曲です。いつもあたたかくご指導下さり、見守って下さる先生をはじめ、支えて下さる皆様に感謝の気持ちを込めて歌いたいと思います。

2. 近付けば離れ、掴めば零れ、毎回厚い壁に眩暈を覚えながらも共存していたい大切なものです。

3. 昨年の東日本大震災から一年が経ち、より人の想いのあたたかさを再認識する事となりました。私は、どのような運命か、昨年の3月10日と11日、福島県のいわき湯本に卒業旅行で居合わせ、大変貴重な体験をしました。誰もが様々な恐怖に怯える中で、共に支え合い、人を想い、助けられた事、人の温かさは、一生忘れません。現在、いわき湯本温泉の旅館は、風評被害を乗り越え、被災される前とほぼ同様に営業活動をされていると知りました。同時に、神様は乗り越えられる試練しか与えない、という言葉思い出しました。

4. 様々な音楽に触れてゆきたいと思っておりますが、フランス・オペラやドイツ・オペラは経験が浅いのもっと学んでゆきたいです。

5. 音楽関係ではありませんが、世界遺産観光がしたいです。(マチュ・ピチュやチンクエテツレが特に！)

6. 長所は緊張しているのにそう見えないところです。ですので、欠点はその逆ではないでしょうか・・・。

## ⑥ 粟津 惇 (ヴァイオリン)



1. この度は出演させて頂き本当にありがとうございます。今回ジョイントコンサートという事でとても楽しみです。イザイのバラードは無伴奏ではありますが、バイオリンの魅力が詰まった曲ですし、唯一の弦楽器ということで歌や他楽器の皆さんに恥じない魅力をお見せできたらと思っています。

2. 一番好きなもので、研究していく事を通して人間としての自分を高めていくものです。

3. すぐ側にいる助けが必要な人に、自分が何をできるのか?自分の仕事にどういうモチベーションで取り組めばいいのか。

4. 個々の作曲家というよりは、ひとつの演奏会を楽しみ、あるいは感動のある時間としてつくりあげる事を磨いていきたいと思っています。

5. 死ぬまでには子育てをしたい

6. 大らかで大雑把。

## ⑦ 金管五重奏団 <Pensieri Brass Quintet>

高荒海(Tp. I) / 三嶋雪音(Tp. II) / 古田龍平(Horn) / 青木昂(Tbn.) / 高橋秀和(Tuba)  
今回は二人の方から回答をいただきました。



### A 三嶋 雪音(第2トランペット)

1. 私にとって、音楽大学を卒業して初めての演奏会となります。音楽家としての第一歩を踏み出すため、新鮮でレベルの高い演奏をしたいと思っています。
2. 私にとって音楽とはなくてはならないもので、感情表現の一つだと思います。
3. 自分の無力さを感じ、自分がすべきことを考えました。
4. ポップスやジャズ、古典を研究していきたいです。
5. 自分のやりたいことは全てやる！病気にはなりたくないです...
6. 明るく、前向きなところです。欠点は雑把なところです。

### B 古田 龍平(ホルン)

1. ホルンが大活躍するカッコイイ曲なので頑張ります。
2. 音楽は、いつもそばにいるもの。
3. いつも当たり前な事が実はとても尊いものであるということ。
4. 緊張に打ち勝つ。古典全般。
5. 家族を持って平凡でも幸せな人生をおくる。さらに演奏家として生活出来れば言うこと無し。
6. 長所→見た目落ち着きがある年寄り。欠点→極度に緊張すると発症する過呼吸。
7. 私達のアンサンブルならではの爆音に注目してノリノリでお聞き下さい。

## ⑧ 柏木 沙友里(ソプラノ)



1. この度は、このような素敵なコンサートに出演させていただけますことを、とても嬉しく思います。今回演奏させていただくのは、歌劇《ファウスト》の中から、乙女マルグリットが歌うアリアです。彼女は、ファウストのことを、「あの方の優しさと気品は、まるで貴族のようだったわ」と呟きながら“トゥーレの王”を歌います。そこで宝石箱を見つけ、これまでに見たこともない美しい宝石に感激して“宝石の歌”を歌います。今回は、この二つの名アリアが存在する一つのシーンを演奏させていただきます。マルグリットが、次第にメフィストフェレスの魔力によって心を奪われていく様子を、ご覧頂けたら幸いです。
2. まるで恋人のような存在です。音楽は、私に最高の幸せを感じさせてくれます。大好きだからこそ、胸がすごく苦しくなることもあります。でも無くはならない存在なのです。
3. 胸が張り裂ける思いでした。この震災の傷跡をいつまでも忘れずに、精一杯生きていきたいです。
4. いろいろな音楽に触れて行きたいですが、モーツァルトのオペラは、どれも興味深いです。取り組んでみたい研究テーマは、パミーナから見た《魔笛》などといった、自分が演じるキャラクターから見た物語の研究です。
5. 経験したいことは、生まれ育った日本の歌曲を研究し、深く理解して演奏することです。経験したくないことは、人前で心のない歌を歌うことです。

6. ご飯を短時間で沢山食べられる。すぐ胃が痛くなる。

### ⑨ 林 聡子 (ピアノ)



1. なかなか演奏する機会がない中、このような素晴らしい演奏会に出演させていただき感謝しています。

主題は古いポルトガルのメロディー〈フォリア〉で、多くの作曲家がこの主題を用いて曲を作っていますが、ラフマニノフのこの曲を通して生涯を綴るように進められる、複雑な内面を表現出来たらと思います。

2. すべて音楽が中心になっている気がします。

3. 物事は一瞬にして変わってしまうのだと感じました。自分の心に正直に、今を大切にしたいと思います。

4. 特にベートーヴェンをより深く勉強したいです。

5. 1人で海外旅行がしてみたいです。

6. 我慢強いのが長所で短所はそそっかしいところです。

### ⑩ 三井 清夏 (ソプラノ)



1. この度は、フレッシュコンサートに出演させていただける事を大変嬉しく思っております。中島先生をはじめ、コンサートに携わる全ての方々に、この場をお借りして感謝申し上げます。今回、選曲したヴェルディ作曲 歌劇「椿姫」ヴィオレッタのアリアは、声楽を始めた頃から、いつかは歌ってみたいと思っていた憧れの一曲です。

高級娼婦であるヴィオレッタが、アルフレードに出会うことによって真実の愛に目覚めます。喜びに浸るも、娼婦であることを自嘲する。心情の襞が幾重にもなるこのアリアは、私にたくさんの課題を与えてくれます。今の私にできる演奏を心を込めてお届けできたらと思っております。

2. なくてはならないもの。命です。

3. 何事もなく、平凡な毎日が、どれほど尊いものなのかということを感じ知らされました。悲しみに暮れる方々の心に寄り添い、小さくてもあたたかな支援をこれからも継続していきたいと改めて思っています。

4. ジャンルを制限せずに、何にでもチャレンジしていきたいと思っています。

魅力的で興味のある作品はたくさんありますが、日本の曲を耳にすると、やはり心が落ち着き、ホッとあたたかい気持ちになります。今後は、日本歌曲のレパートリーも増やしていきたいです。

5. 経験しておきたいことは、可能な限り色々な国へ行き、見識を深めること。富士登山。経験したくないことは、大切な人との別れ。

6. 長所は、明るく、良く笑うところでしょうか。

欠点は、のんびりマイペースなところ。

## ⑪ 小林 啓倫 (バリトン)



1. 私はこの新人演奏会に出演させて頂くにあたり、これまで特に力を注いで参りましたドイツ・リートとオペラ作品より、それぞれ一曲ずつ演奏させて頂く事に致しました。

先ずドイツ・リートの作品は、物語詩を題材に作曲されるバラード。そのバラードの王様と称されるC. Loewe 作曲の“オルフ氏”を演奏させて頂きます。ドイツ・リートのバラード作品、とりわけ彼の作品は、その短い曲の中に、長い

オペラで語られる物語が全て凝縮されている様であり、また複数の登場人物を一人で演じ分けることが要求されていて、ドイツ・リートの芸術性と奥深さを深く表現している作品だと思いい、この作品に挑戦させて頂くことに致しました。登場人物の個性や劇的な物語を表現し、皆様にお伝えすることが出来れば幸いです。

次に、オペラ作品からはG. Bizet 作曲のオペラ《Carmen》より、“闘牛士の歌”を演奏させて頂きます。このアリアは皆様もご存知のとおりとても有名で、オペラの花形であります。いつか大きな舞台上でオペラの主役を演じられるよう、願いを込めまして演じさせて頂きます。

2. 私にとって音楽とは小さな頃より常に近くにあり、クラシック以外のジャンルや歌以外の楽器もいくつか経験させて頂きました。私にとって音楽はコミュニケーションであり、フラストレーションそのものであると同時にその解消の手段でもあり、自分自身を表現できるものであり、大好きなものであります。

3. 東日本大震災では、あまりにも多くの尊い命が失われた事への悲しみや、自然への畏怖の念、行政などへの憤り、他国の支援への感謝と感動。沢山の経験した事のない感情や想いがいっぺんに押し寄せてきて未だに整理することが出来ません。自分一人が出来ることは本当に小さく無力でした。だからこそ私たち一人一人に出来る事は自分の人生を精一杯生きてゆく事ではないか。今はそう感じています。

4. G. Verdi のオペラ作品。またJ. S. Bach などの受難曲やカンタータなど宗教曲。

5. 一生のうちに経験してみたいのは、世界一周旅行。したくないのは、ケガと病気。

6. 長所と短所は、人に優しく、自分にはもっと優しい。



第一回のコンサートに飾られた花スタンドとリハーサル風景

# フレッシュコンサートの10年を振り返って

コンサート実行委員長 中島 洋一

若い音楽家のためのコンサートを開催しようという構想は、実は前世紀末の中島克磨氏が事務局長（現在の理事長職に相当）だった頃からあったようです。中島克磨氏は、私の第一期事務局長時代の1991年～1996年に、事務局次長の職にあり、その頃は若手の第一人者という年齢でしたが、中島克磨氏が私の後を嗣いで事務局長の役職にあった1996年～2000年の頃には、彼も壮年期に達しておりました。その頃の我が国は、バブルが崩壊し高度成長期が終わり、経済的に停滞期に入り、若い会員の入会が少なくなりました。古くからの会員はだんだん年齢を重ね、壮年層が熟年層に、熟年層が老年層に移行するような状況下で、自分に続く若い人達を育てて入会させたいという中島克磨氏の気持ちは良く判りました。しかし、若い人のためのコンサート開催という構想は、その時点では実現しませんでした。

2000年に入って、現代表理事の助川敏弥氏が事務局長として返り咲きました。私が運営委員会などで「若い人材の確保が必要」との発言をすると、事務局長の助川氏や他の方々も賛同してくれました。そして2002年に私が再度事務局長に就任したのを機会に、若い音楽家のためのコンサート開催に向けて具体的な計画を立てはじめました。私はその頃音楽大学に勤務しており、教え子や教員仲間も多く、比較的出演者を勧誘しやすい立場にあり、また会員の中にも若い優秀なお弟子さんを持つ方々がいらっしゃるのので、そういう方々と力を合わせれば、なんとか実現出来そうな目処が立ったからです。目処がついたところで、次にコンサートのタイトルをどうするかということが悩みの種となりました。多くの会員の意見を訊きましたが最終的には研究会員の湯浅玲子さんが提案した「Fresh Concert」というタイトルに落ち着きました。一見ありふれていますが、このコンサートに相応しく飽きの来ない名前であるということで、決定しました。サブタイトルの「～より豊かな音楽の未来をめざして～」について、当初は毎年変えて行こうと考えていたのですが、このコンサートの存在を社会的に認可させ定着させて行くためには、年号だけ変えて、タイトルとサブタイトルは毎年同じにした方が効果的なのではないかと考えるようになり、10年ずっとそのままで来ています。しかし、ほんの僅かですが変化がありました。2003年～2006年度は『Fresh Concert CMD 2003 ～より豊かな音楽の未来をめざして～』だったのが、第5回の2007年度からは CMD → CMDJ と変化しています。それは、会の英名が The COMMITTEE of MUSIC and DANCE, JAPAN から The CONFERENCE of MUSIC and DANCE, JAPAN に変更されたからです。

第一回目の開催時には人集めに苦労しました。会員の方々が推薦した人、私の教員仲間の推薦者、それと私の知り合いに声をかけ、ようやく目標とした人数が集まりました。しかし、参加者には意欲的な人が多く、としま産業会館で催した座談会にも多くの出演者が集まりました。まだチラシなどはまだみすぼらしいもので、集客にも問題がありましたが、当日の演奏は若々しい熱気に溢れた好演が続き、予想した以上の好評を得て、この企画を継続する自信がつけました。そして、回を重ねる毎に協力者も増え、優秀な出演者が集められるようになりました。

Fresh Concert の出演歴を持つ若い声楽家が増えて来た2005年12月に、本会としては10年振りに、オペラコンサートを開催しましたが、このコンサートも2007年以降、毎年継続して開催され、Fresh Concert で発掘した人材に、次のステップとなる場を提供し、本会のベテラン声楽会員の良き指導もあり、若い人材の育成の役割を果たすとともに、毎年満員の聴衆を集め、いまや本会の目玉コンサートの一つに育って来ています。

また、2008年2月には『若い翼による CMDJ コンサート』の第1回目が開催され、毎年継続されていますが、こちらは声楽部門だけでなく器楽部門において、Fresh Concert の器楽参加者の次なるステップとしての役割を果たしています。

それから2007年以降、フランス歌曲を学ぶ若い会員が増えて来ておりますが、そういう人達を育成し、またフランス歌曲の魅力を多くの方々に知ってもらったために、『フランス歌曲・研究コンサート』が2008年から毎年が開催されるようになりました。これは比較的狭い会場で行うコンサートですが、通の方々からは、ユニークで聴き応えのあるコンサートという評価を得ています。

Fresh Concert をはじめた頃は、声楽、ピアノのソロが中心でしたが、会を重ねるに従って、絃楽器や管楽器を含むアンサンブルで参加するケースが出てきました。第5回の2007年には、難曲として知られているバルトークの『2台のピアノと打楽器のためのソナタ』を演奏するグループが現れましたし、第6回の2008年には初めて金管楽器（トランペット）の参加がありました。

その後、2009年度のピアノトリオ、2010年度の金管五重奏、昨年の六重奏など、毎年アンサンブルでの参加があります。今年も金管五重奏が加わります。ソロの演奏の中に、アンサンブルの演奏が挟まるとコンサートに彩りと活気を与えるてくれるように感じます。

ところで、このコンサートのチラシは、毎回実行委員長の私が作成しております。デザインにはまったく素人の私が作成したチラシですから、初めの頃はひどいものでした。手の内をお見せしますと、第1回のチラシは、ワープロソフトの一太郎で作成しました。第2、3回は、ご存知ない方が多いかと思いますが、今は使われなくなった“Page maker”というソフトを使って作成しています。2006年度の第4回からは、写真をPhotoShopで加工し、Illustratorで仕上げるといふ、プロが一般的に使う方法を使うようになりました。色数も2003年度の第1回は2色刷り、第2、3回はモノクロ、第4、5回は表面フルカラー、裏面がモノクロで、2008年度の第6回からは、両面フルカラーとなっています。また、花模様のなどでデザインでチラシの外枠を飾るようにしたのはその年からです。

ホームページの以下のURLをアクセスしていただくと、チラシや出演者の写真、コンサートの報告など、Fresh Concertの10年間の記録をご覧いただけます。

**(以下のURLをマウスでクリックすると、自動的にフレッシュコンサートのページへ飛びます)**

[http://www5c.biglobe.ne.jp/~onbukai/concert/Fresh\\_concert\\_top.htm](http://www5c.biglobe.ne.jp/~onbukai/concert/Fresh_concert_top.htm)

また、“日本音楽舞踊会議”のキーワードで検索し、Menuから“Fresh Concert”で入ることが出来ます。

このコンサートを企画した当初は、若い会員の確保を第一に考えていたのですが、今は音楽文化の土壌を耕し、より実り豊かな音楽文化環境を築くための活動の一環というように、より大きな見通しに立って考えています。出演した方々の多くが入会してくれることは会にとって望ましいことではありますが、例えそうでなくとも、出演者がこのコンサートをより良い音楽活動をして行くための切っ掛けにしてもらえれば我が国の音楽文化の発展にとって喜ばしいことですし、そのような役割を担うことが出来る音楽文化団体であってこそ、社会的文化的存在理由を持ち、存続させて行く価値があると考えます。このコンサートがどこまで続けられるかわかりませんが、やがて良き後継者が現れ、この企画をより発展的に継続してくれることを願っています。

◆過去9回の Fresh Concert 演奏者&演奏曲目一覧◆

《第1回 (2003年3月19日(水)):新宿角筈区民センターホール》

司会:西山淑子

岩槻 佳枝 (ピアノ)

リスト 『バラード 第2番』

**F.Liszt** 2me Ballade

吉松 亜衣 (ソプラノ)

ピアノ 金益 研二

ベッリーニ オペラ『夢遊病の女』より “気もはればれと”

**V.Bellini** [La Sonnambula] ~ “Come per me sereno”

松浦 豊彦 (バリトン)

ピアノ 真田 千絵

シューベルト **F. Schubert**

“さすらい人が月に寄せて” Der Wanderer an der Mond D.870

“羊飼いの嘆きの歌” Schäfers Klagelied D121

“星はなんと明るく” Die Sterne D.939

湯原 拓哉 (チェロ)

ピアノ 澤田 友子

1. ポッパー 『40の練習曲』より第17番 ハ長調 作品 73-17

**D.Popper** "40 Studies" No.17 in C major op.73-17

2. チャイコフスキー 『夜想曲』 作品 19

**P.Tchaikovsky** "Nocturne" op.19

3. ボッケリーニ ソナタ 第6番 イ長調 第1.2楽章

**L.Boccherini** "Sonata for Cello and Piano" NO.6 in A major move.1,2.

植田 さや香 (ピアノ)

スクリャービン **A.N. Scriabin**

1. 『3つのプレリュード』 作品 37-1、作品 51-2、作品 59-2

"3 Preludes" Op.37, No.1, Op.51, No.2, Op.59, No.2

2. ピアノ・ソナタ 第9番 『黒ミサ』 作品 68

Sonata No.9, "Black Mass" Op.68

岩間 俊恵 (ピアノ)

メトネル **N. Medtner**

<忘れられた調べ>第1集 作品 38より 第1番『追憶のソナタ』イ短調

from "Forgotten Tunes" Cycle Op.38 "Reminiscence Sonata" a minor

高波 亜由実 (ソプラノ)

ピアノ 田子 篤子

1. ベッリーニ “熱き願い”

**V.Bellini** Il Fervido Desiderio

2. ベッリーニ “優しい妖精、マリコンニアよ”

**V.Bellini** Malinconia, ninfa Gentile

3. ドニゼッティ オペラ 「シャーモニーのリンダ」より “この心の光”

**G.Donizetti** 「Linda di Chamounix」~ ” O luce di quest'anima”

戸田 竜太郎 (クラリネット) / 山口 有希子 (ピアノ)

ブラームス **J.Brahms**

ピアノとクラリネットのためのソナタ 作品120-2

Sonata für Klavier und Klarinette Op.120 Nr.2

小道 一代 (メゾ・ソプラノ) ピアノ 岸 洋子

コープランド 『古いアメリカの歌』より

**A.Copland** “Old American Songs” ~

遠い昔 Long Time Ago

小さな馬 The Little Horses

ザイオンの壁 Zion's Walls

川のほとり At the River

《第2回（2004年4月6日（火）：めぐろパーシモンホール（小）》

司会：西山淑子

高橋 絵里（ピアノ）

ショパン ソナタ ロ短調 作品58より、第1、第4楽章  
F.Chopin Sonata in b-minor op.58 ~ 1mov. and 4 mov.

鈴木 文（ソプラノ）

ピアノ 松本 智恵  
ベッリーニ オペラ『夢遊病の女』より “私にとって今日は何とすばらしい日”  
V.Bellini [La Sonnambula] ~ “Come per me sereno oggi”

相澤 沙代（ピアノ）

プロコフィエフ ソナタ第7番 作品83  
S.Prokofiev Sonata no.7 Op.83

金子 直美（ソプラノ）

ピアノ 青木いづみ  
マスカーニ 『アヴェ・マリア』  
P.Masukagni “Ave Maria”  
ドヴォルザーク オペラ『ルサルカ』より “月に寄せる歌” 他  
A.Dvorák [Rusalka] ~ “Piesen rusalky o Mesicku”

植田 さや香（ピアノ）

1. 浅香 満 バラード  
M.Asaka B a llade
2. スクリャービン ソナタ第4番 作品30  
A.N. Scriabin Sonata No.4 Op.30

神尾 弥（打楽器）

向井 耕平 「前奏曲とアレグロ」 ～マリンバのための 作品19  
K.Mukai Prelude and Allegro for marimba Op.19

北川 葉子（ピアノ）

ラフマニノフ コレルリの主題による変奏曲 Op.42  
S.Rakhmaninov Variations on a theme of Corelli Op.42

矢数 典子（ソプラノ）

ピアノ 藤川 志保  
モーツァルト オペラ『フィガロの結婚』より  
「スザンナは来ないかしら」～「楽しい思い出はどこへ」  
W.A.Mozart [La Nozze di Figaro] ~  
“E Susanna non vien!” ~ “Dove sono i bei momenti”

ユリヤ・スメタンキナ “Yuliya Smetankina”（フルート）

アウラ・ヴァージニア・ポペスク “Aura Virginia Popescu”（ヴァイオリン）植田 さや香（ピアノ）  
ブラームス .ハンガリア舞曲 第1番、第5  
～フルートとヴァイオリンの二重奏（ピアノ付）  
J.Brahms Hungarian Dance No.1 and No.5  
～ Arranged for Flute, Violin and Piano

---

《第3回（2005年3月30日（水）：めぐろパーシモンホール（小）》

司会：西山淑子

秋山 有子（ピアノ）

L.V.ベートーヴェン ピアノソナタ op.81-a “告別”

L.V.Beethoven Klavier Sonate op.81-a “Das Lebewohl”

谷坂 仁美（ピアノ）

S.ラフマニノフのプレリュード Op23 - 2、23 - 4、23 - 5、32 - 5

S.Rakhmaninov Prelude Op.23-2,23-4, 23-5, 32-5

高橋 絵理（ソプラノ）

ピアノ伴奏 山下珠実

G ロッシーニ 「ウイリアム・テル」

～彼らはとうとう行ってしまった！－暗い森、荒れ果てた悲しい野よ～

G.Rossini 「Guglielmo Tell」

～ S'allontanano alfine ! - Selva opaca,deserta brughiera ～

加藤 みちる（ピアノ）

S.ラフマニノフ コレルリの主題による変奏曲 op.42

S.Rakhmaninov Variations on a Teme of Corelli op.42

高原 史乃（ソプラノ）

ピアノ伴奏 山下珠実

ロッシーニ 古風なアリエッタ

G.Rossini Arietta all' antica

ヴェルディ 歌劇「海賊」より

～まだ彼は帰ってこない！...私の頭から暗い考えを～

G.Verdi Opera 「Il Corsaro」

～ Egli non riede ancora!...Non so le tetre immagini ～

----- 休憩 -----

久保 智美（オンド・マルトノ）

ロラン クルーズ オンド・マルトノ ソロの為の ”アルス...”（日本初演）

Roland Creuze ” ALS...” pour Ondes Martenot solo

朴 成姚（ピアノ）

L.V.ベートーヴェン 15の変奏曲とフーガ（エロイカ変奏曲）

L.V.Beethovn 15Variationen mit Fuge, Es-Dur ,Op.35

折田 いづみ（メゾ・ソプラノ））

ピアノ伴奏 山下珠実

G ビゼー・歌劇「カルメン」より『セギディーリャ』

G. Bizet Carmen “Seguidilla”

C.サン＝サーンス 歌劇「サムソンとデリラ」より『愛の神よ、弱い私を助けて！』

C.Saint-Saens [Samson et Dalila] “Amour! Viens aider ma faiblesse!”

富田 紀子（ピアノ）

C.ドビュッシー： 前奏曲第2集より 1 1. 交代する3度 1 2. 花火

C.Debussy : [Preludes 2e live ] 11.Les tierces alternees, 12.Feux

佐藤 大介（ピアノ）

R.シューマン 幻想曲ハ長調 作品17より第1楽章

R.Schumann Fantasie C-dur Op.17 ~ 1.Satz

《第4回》2006年3月28日(火)：めぐろパーシモンホール(小)》

司会：西山淑子

小俣 優衣 (ピアノ)

ラフマニノフ ソナタ 第2番 変ロ短調 作品36

S.V.Rakhmaninov Sonata No.2 Bb minor Op.36

佐野 友美 (ソプラノ)

ピアノ伴奏 山下 珠実

ヴェルディ 歌劇「椿姫」より “ああ、そはかの人か～花から花へ”

G.Verdi Opera「La Traviata」 "Ah! fors'è lui … Sempre libera"

内田 陽子 (ソプラノ)

ピアノ伴奏 花井 梨江

モーツァルト 演奏会用アリア『わが感謝を受けたまえ、やさしい保護者よ!』

W.A.Mozart Konzert Aria “Nehmt minen Dank, ihr holden Gonner”

歌劇『魔笛』より “恐れるな、私のかわいい若者よ”

Opera「Die Zauberflöte」 “O zittre nicht, meinrn lieber Sohn”

本間 太郎 (ピアノ)

ヒナステラ ピアノソナタ 第1番

A.Ginastera Piano Sonata No.1

知念 祥子 (ソプラノ)

ピアノ伴奏 山下珠実

プッチーニ 歌劇「蝶々夫人」より “ある晴れた日に”

G.Puccini Opera「Madama Butterfly “Un bel di vedremo”

井出 舜太郎 (チェロ)

ピアノ伴奏 鈴木慎崇

サン・サーンス チェロコンチェルト第1番 op.33 第三楽章

Saint Saens Cello Concert a-minor Op.33 3d. mov.

----- 休憩 -----

村上 貴子 (ソプラノ)

ピアノ伴奏 山下 珠実

モーツァルト 歌劇『魔笛』より “地獄の復讐が私の心の中に”

W.A.Mozart Opera「Die Zauberflöte」 "Der Hölle Rache Kocht in meinem Herzen"

プッチーニ 歌劇「つばめ」より “ドレッタの素敵な夢”

G.Puccini Opera「La Rondine」 "Chi il bel sogno di Doretta"

下川 慶子 (ソプラノ)

ピアノ伴奏 山下珠実

ヴェルディ 歌劇『運命の力』より “神よ平和を与えたまえ”

G.Verdi Opera「La forza del destino」 "Pace, pace mio dio"

歌劇『仮面舞踏会』より “私は死にます、でもその前に”

「Un ballo in maschera」 "Morro ma prima in grazia"

大矢 絢子 (ピアノ)

ショパン 「幻想ポロネーズ」 変イ長調 op.61

F.Chopin Polonaise-fantasia As-dur op.61

小椋 由加里 (ソプラノ)

ピアノ伴奏 花井 梨江

山田耕筰 「AIYANの歌」より “曼珠沙華”

ロッシーニ 歌劇「セビリヤの理髪師」より “今の歌声”

G.Rossini Opera「Barbiere Di Siviglia」～ “Vna Voce poco fa”

相山 潤平 (テノール)

ピアノ伴奏 合田由佳

トスティ “セレナータ”

.F.P.Tosti "La serenata"

ヴェルディ 歌劇『仮面舞踏会』より “永久に君を失えば”

G.Verdi Opera「Un ballo in maschera」 “Ma se m' e forza perderti”

《第5回》2007年4月6日（金）：すみだトリフォニーホール（小）

司会：西山淑子

元田 絢子／西野 杏梨（ピアノ連弾）  
ドヴォルザーク スラブ舞曲 No.8作品46-8/No.10 作品72-10/No.15 作品72-15  
Dvorak Slavik Dance No.8 op.46-8/No.10 op.72-10/No.15 op.72-15

武田 麻衣（ソプラノ） ピアノ伴奏：森田 真帆  
マスネ “君の青い目を開けなさい”  
歌劇《マノン》から “さようなら、私たちの小さなテーブルよ”  
Massenet “Ouvre tes yeux bleus” / 《Mannon》～ “Adieu, notre petite table”

湯川 亜也子（メゾ・ソプラノ） ピアノ伴奏：森田真帆  
フォーレ 歌曲「ある日の詩」  
G. Fauré “Poeme d'un jour (Rencontre / Toujours / Adieu)”

恵藤 幸子（ピアノ）  
バッハ トッカータ 木短調  
J. S. Bach Toccata e-moll BWV914 No.2  
ショパン 練習曲 作品15-5 変ト長調 「黒鍵」  
Chopin Etude Op.15-5 Ges-Dur 「Black key」  
プロコフィエフ ピアノソナタ 第2番 作品14第二楽章  
Prokofiev Piano Sonata No.2 Op.14 (2<sup>nd</sup> mov.)

宮川 雅衣（ソプラノ） ピアノ伴奏：森田真帆  
トスティ 安らぎを返させたまえ  
Tosti “Ridonami la calma”  
モーツァルト 歌劇《イドメネオ》より “もし私が父上を失い”  
Mozart 《Idomeneo》～ “Se il padre per dei”

花田 愛（ソプラノ） ピアノ伴奏：森田真帆  
ドビュッシー グリーン/「放蕩息子」よりアザエル！なぜお前は去っていったの？  
Debussy Green / L'enfant prodigue”～ “Azaël! Pourquoi m'as-tu quittée?”

----- 休憩 -----

横山さやか（P）／神原あゆみ（P）／高橋英樹（Per.）／鈴木紋香（Per.）  
バルトーク 2台のピアノと打楽器のためのソナタ（第2,3楽章）  
Bartok Sonata for two pianos and percussion

島田 祐子（ソプラノ） ピアノ伴奏：神原あゆみ  
レスピーキ 《森の伝説》より “牧神たち” / “エグレ” / “黄昏”  
Respighi 「Deita silvanca」～ “IFAUNI” / “EGLE” / “CREPUSCOLO”

神田 麻衣（ピアノ）  
ショパン バラード 第4番 へ短調 作品52  
Chopin Ballade No.4 f-minor Op.52

金澤 梨恵子（ソプラノ） ピアノ伴奏：山下 知里  
グノー “おいで！芝生は緑だ！” / 歌劇『ファウスト』より “宝石の歌”  
Gounod “Viens! Les gazons sont verts!” / 《Faust》～ “Air des bijoux”

太田 智子（ソプラノ） ピアノ伴奏：山下 知里  
ラフマニノフ “夢” 作品8-5 “彼女達は答えた” 作品21-4  
Rakhmaninov “Dream” Op.8-5 / “They answered” Op.21-4  
ドヴォルザーク 歌劇《ルサルカ》より “月に寄せる歌”  
Dvorak 《Rusalka》～ “Piesen rusalky o Mesicku”

《第6回》2008年4月5日(土):すみだトリフォニーホール(小)

司会:西山淑子

- 坪野 智子 (ソプラノ) ピアノ伴奏:森田 真帆  
 フォーレ 「五月」作品1-2、「リディア」作品4-2、「愛の唄」作品27-1  
 G.Fauré "Mai" Op.1-2, "Lydia" Op.4-2, "Chanson d'Amour", Op.27-1
- 福田 将史/原田 佳菜子 (フルート二重奏) ピアノ伴奏:高橋 亜侑実  
 モーツァルト ソナタ 二長調 KV.448 (2台のピアノのためのソナタからの編曲)  
 W.A.Mozart Sonata D-Dur KV.4484
- 小林 由香 (ソプラノ) ピアノ伴奏:森田 真帆  
 ベルリオーズ 「夏の夜」作品7より 6..知られざる島  
 H.Berlioz [Les nuits d'ete] op.7~ "Lile inconnue"  
 プーランク 「歌の調べ」より 3.重々しい歌、4.快活な歌  
 F. Poulenc [Airs chantets]~ Air grave, Air vif
- 上埜 マユミ (ピアノ)  
 リスト ハンガリア狂詩曲 第12番 嬰ハ短調  
 F.Liszt Hungarian Rhapsodies No.12 C# minor
- 増田 浩子 (ソプラノ) ピアノ伴奏:森田 真帆  
 フォーレ 「5つのヴェネチアの歌」より “ひそやかに”  
 G.Fauré [5Mélodies de Venise]~ "En sourdine"  
 C.ドビュッシー 「2つのロマンス」より 1.そぞろな悩める心、2.鐘  
 C. Debussy [2 Romances] "L'âme évaporée et souffrante"、"Les cloches"
- 休憩 -----
- 元田 絢子/西野 杏梨 (ピアノ連弾)  
 グリーク 「ペールギュント組曲」 第1集 作品46  
 E.Grieg [Peer Gynt-Suite1] Op.46
- 兼子 知恵 (ソプラノ) ピアノ伴奏:坂田 優子  
 アルディーティ “ロづけ”  
 L.Ardit "Il bacio"  
 ヴェルディ 歌劇『リゴレット』より “麗しき御名”  
 G.Verdi [Rigoletto] ~"Caro nome che il mio cor"
- 川田 修一 (トランペット) ピアノ伴奏:藤田 朗子  
 ヒンデミット トランペットとピアノの為のソナタ  
 P.Hindemith Sonate für Torompete und Klavier
- 齋藤 希絵 (ソプラノ) ピアノ伴奏:森田真帆  
 トマ 歌劇『ハムレット』より “オフィリアの狂気のシェーナとアリア”  
 A.Thomas 《Hamlet》~ "Scène et air et air de la folie d' Ophélie"
- 古川 詠子 (ソプラノ) ピアノ伴奏:石川 美也子  
 ミルヴェデン 愛の歌  
 I.Milveden Kärlekens visa  
 ニールセン リンゴの花びら (歌曲作品10)  
 C. Nielsen Æbleblomst (Sange,op.10)  
 ランゲミュッラ ホアナの第一の歌 (「スペインの学生たち」より 作品22-4)  
 P.E. Lange-Müller Juanas Første Sæng (Af Operaen "Spanske Studenter" Op22. No.4)  
 ホアナの第二の歌 (「スペインの学生たち」より 作品22-5)  
 Joanas Anden Sæng (Af Operaen "Spanske Studenter"Op22. No.5)
- ステンハンマー 森で  
 W.Stenhammar I Skogen

《第7回》2009年4月8日(水):すみだトリフォニーホール(小)

司会:西山淑子

高橋 亜侑美/岩下 真菜 (2台のピアノによる二重奏)

インファンテ 「アンダルシア舞曲」

M. Infante Danses andalouses

小木曾 実奈 (ソプラノ)

ピアノ伴奏:森田 真帆

フォーレ 『ある日の詩』より

1 めぐり逢い 2 いつまでも 3 さよなら

G. Fauré 『Poème d'un jour』

1 Rencontre 2 Toujours 3 Adieu

中山 弘一 (テノール)

ピアノ伴奏:白取 晃司

デュパルク “悲しき歌”

H. Duparc "Chanson triste"

グノー 歌劇「ファウスト」より “門出を前に”

C. Gounod [FAUST] “Avant de quitter ces lieux”

小山 佳美 (ピアノ)

野平一郎 響きの歩み

I. Nodaira Pas de resonance

西村朗 星の鏡

A. Nishimura MIRROR OF STAR

佐々木 寿子 (ソプラノ)

ピアノ伴奏:遠藤 圭一郎

アーン 「クロリス」、「雅なる宴」

R. Hahn "A Chloris"、“Fêtes Galantes”

別宮貞雄 「さくら横丁」

----- 休憩 -----

工藤 慎子(P)/大羽由希子(Vn)/花澤春香(Vc) (ピアノ三重奏)

ショスタコービッチ ピアノ三重奏曲 第二番 作品 67 第三楽章、第四楽章

D. Shostakovich Piano Torio No.2 Op.67 3-rd mov. & 4 -th mov.

吉水 知草 (ソプラノ)

ピアノ伴奏:森田 真帆

中田喜直 「ゆく春」

グノー 歌劇『ファウスト』より「宝石の歌」

C. Gounod [Faust] "Air des bijoux"

大澤知代 (Sop.Sax.) /熊谷枝里子 (Alt.Sax.) /小笠原良太 (Ten.Sax.) /佐藤広理 (Bar.Sax.)

(サクソフォーン四重奏)

リヴィエ グラーヴェとプレスト

J. Rivier Grave et Presto

大川 博 (バリトン)

ピアノ伴奏:富田 優

チマーラ [郷愁]

P. Cimara "Nostalgia"

モーツァルト 歌劇『フィガロの結婚』より “訴訟に勝ったと!”

W.A. Mozart [Le nozze di Figaro] ~ "Hai gia vinta la causa !"

増子 あゆみ (ソプラノ)

ピアノ伴奏:藤川 志保

ヴェルディ 歌劇『仮面舞踏会』より

"ここが罪を死に結びつけるという恐ろしい場所!"

G. Verdi [Un ballo in maschera] ~ "Ecco l'orrido campo ove s'accoppia al delitto la morte!"

《第8回》2010年4月9日(金):すみだトリフォニーホール(小)

司会:西山淑子

岡田 真実(ソプラノ) ピアノ伴奏:稲葉 千恵  
フォーレ 「リディア」作品4-2、「ネル」作品18-1、「薔薇」作品51-4  
G.Fauré "Lydia" Op.4-2, "Nell" Op.18-1, "La rose", Op.51-4

小林 萌里(ピアノ) 半音階的幻想曲とフーガ 二短調 BWV 903  
バッハ J.S.Bach Chromatische Fantasie und Fuge d-moll BWV 903

大坪 由衣(ソプラノ) ピアノ伴奏:山木 千絵  
モーツァルト 歌劇『ドンジョヴァンニ』より  
"ぶってよ、ぶって、いとしいマゼット"、"恋人よ、さあこの薬で"  
W.A.Mozart [Don Giovanni] ~ "Batti, batti, o bel Masetto", "Vedrai, carino"

宮下 咲恵(ソプラノ) ピアノ伴奏:森田 真帆  
フォーレ 歌曲集『ある日の詩』 作品 21  
1.めぐり逢い、2.いつまでも、3.さようなら  
G.Fauré 『Poème d'un jour』 Op.21 1.Rencontre 2.Toujour 3.Adieu

恵藤 幸子(ピアノ) 「オンディーヌ」  
ラヴェル 『夜のガスパール』より 「オンディーヌ」  
M.Ravel 『Gaspard de la nuit d-moll』 ~ [Ondine]

秋山 来実(ソプラノ) ピアノ伴奏:稲葉 千恵  
フォーレ “月の光” 作品 46-2、“歌う妖精” 作品 27-2  
G.Fauré “Clair de lune” Op.46-2, “Le fée aux chansons” Op.27-2

----- 休憩 -----

角 雅晃(Tp.)/伊藤 緑(Tp.)/齋藤 嵩之(Horn)/永山 千尋(Tb.)/三木 博士(Tuba)  
《金管 5 重奏》  
エワイゼン 「フロストファイア」  
E. Ewazen: [FROST FIRE]

清野 友香莉(ソプラノ) ピアノ伴奏:藤川 志保  
R・シュトラウス 歌劇『ナクソス島のアリアドネ』より「偉大なる王女様」  
R.Strauss 「Großmächtige Prinzessin」 from 《Ariadne auf Naxos》

秀川 みずえ(ヴァイオリン)/鈴木 菜穂子(ピアノ)  
グリーグ ヴァイオリンソナタ 3 番 ハ短調 作品 45 より 2、3 楽章  
E. Grieg Violin Sonata No.3 (c-moll op.45) ~ 2、3mov.

大久保 雅代(ソプラノ) ピアノ伴奏:白取 晃司  
ヴェルディ 歌劇『リゴレット』より “麗しき御名”  
G.Verdi [Rigoletto] ~ "Caro nome che il mio cor"

村松 恒矢(バリトン) ピアノ伴奏:中澤 頼子  
モーツァルト 歌劇『ドン ジョヴァンニ』より “酒で頭が熱くなるまで”  
W.A.Mozart [Don Giovanni] "Fin ch'han dal vino"  
モーツァルト 歌劇『フィガロの結婚より』より “もう訴訟に勝っただと?”  
W.A.Mozart [Le nozze di Figaro] ~ "Hai già vinta la causa"

《第9回》2011年4月8日(金):すみだトリフォニーホール(小)

司会:西山淑子

北風 絃子(ソプラノ) ピアノ:稲葉 千恵  
フォーレ 歌曲集『ある日の詩』 作品21  
1.めぐり逢い、2.いつまでも、3.さようなら  
G.Fauré 『Poème d'un jour』 Op.21 1.Rencontre 2.Toujour 3.Adieu

高橋 健介(ピアノ)  
バッハ~ブゾーニ 「シャコンヌ」  
J.S.Bach=F.Busoni [Chaconne]

鎌田 亮子(ソプラノ) ピアノ:前田 明子  
ベルリオーズ 歌曲集『夏の夜』 作品9より  
“ヴィラネル”、“入り江のほとり(哀歌)”、“未知の島”  
H. Berlioz [Les nuits d'été] ~ Op9  
“Villanelle” “Sur les lagunes (Lamento)” “L'île inconnue”

申 恩珠(Shin, Eun-Joo)(ピアノ)  
ショパン: マズルカ 作品59  
F.Chopin Mazurka op.59

今井 梨紗子(ソプラノ) ピアノ:渡邊 美文  
諸井三郎 少年  
ヘンデル オペラ《エジプトのジュリオ・チェーザレ》より  
“私に憐れみを感じてくださらないなら”  
G.F.Handel [Giulio Cesare in Egitto] ~ “Se pietà di me non senti”

----- 休憩 -----

加藤 千理(Fl.)/椎野 未花(Ob.)/菅田 未季(Cl.)/小林 香緒理(Fag.)  
齋藤 嵩之(Horn)/草間 葉月(Pf) 《六重奏》  
プーランク 「六重奏曲」  
F.Poulenc: [Sextuor]

坂本 久美(ソプラノ) ピアノ:森田 真帆  
フォーレ 「アルペジオ」作品76-2、「ばら」作品51-4  
G.Fauré “Arpège” Op.76-2 “La rose” Op.51-4  
ドビュッシー [現れ]  
C. Debussy “Apparition”

北村 真紀子(ピアノ)  
バッハ=ブラームス 左手のためのシャコンヌ  
J.S.BACH = J.BRAHMS Chaconne for left hand

大武 彩子(ソプラノ) ピアノ:齋藤 亜都沙  
オッフェンバック 歌劇《ホフマン物語》より “森の小鳥はあこがれを歌う”  
J. Offenbach [Les Contes d' Hoffmann] ~ “Les oiseaux dans la charmille”

鄭 胤先(Juon, Yun-Son)(ピアノ)  
リスト リゴレット(演奏会用パラフレーズ)(ヴェルディ)  
F. Liszt Rigoletto (Paraphrase de concert) S.434

# 本年4月中旬以降の日本音楽舞踊会議関係のコンサート案内

(※太字、下線は 本会主催コンサート)

## 【4月】

18日(水) CDを聴く会 ～ハンス・ロットを聴く～【会事務所 14:00 より】

20日(金) 北川暁子ピアノリサイタル ベートーヴェンソナタ全曲連続演奏会 第5夜  
第2番 第20番 第15番 第16番 第30番

【津田ホール 19:00 一般 5,000円、学生 3,000円 問い合わせ:サウンドギャラリー  
03-3351-4041】

29日(祝日・日) 織島匡子 音楽ヘルパー講座

【13:00-16:00 四谷地域センター 10階 3,000円】

## 【5月】

10日(木)作曲部会公演 作曲部会作品展

【すみだトリフォニー小ホール 18:30 開演 入場料 3,000円】

1 大和実 Minoru YAMATO

大和ミエ子詩謡集「さくら さくら」より (詩大和ミエ子)

1. こぶしの花 2. 「冬の鳥」 3. 「榛名賛歌」

M.Sop. 湯川亜也子 Pf. 森田真帆

2 高橋 通 Toru TAKAHASHI

ピアノ ソナタ (初演) Sonata for Piano

Pf. 鈴木菜穂子

3 津田裕子 Hiroko TSUDA

「ヘスペリデスの庭」(初演) Garden of Hesperides

Fl.1 吉崎恭佳 Fl.2 池田若菜 Pf. 宮入柚子

4 桑原洋明 Hiroaki KUWAHARA

ピアノ三重奏『ある内なる対話』(初演) Piano Trio [The inner dialogue]

Vn. 坂本瑠美 Vc. 伊藤顕輔 Pf. すずきみゆき

5 金藤 豊 Yutaka KANETO

ヴァイオリン ソナタ 第5番 (改訂初演) SONATA for Violin and Piano

Vn. 北川靖子 Pf. 高橋健介

6 島筒英夫 Hideo SHIMAZUTSU

「防人の歌」(作詩:高橋一仁)(初演)

第一首 おそろしや 第二首 ふるさとよ

第三首 いきのしま 第四首 ねんきおえ

第五首 としおいた 第六首 いつのよか

Sop. 浦 富美 Pf. 島筒英夫

7 穴原雅巳 Masami ANAHARA

弦楽四重奏のためのレクイエム (初演) Requiem for String Quartet

Vn.1 西田和子 Vn.2 湯山怜史 Va. 宮本美喜 Vc. 安東和美

8 ロクリアン正岡 Locrian MASAOKA

「ライオンへの畏敬」ーバリトンサクソフーンによる(初演)

Baritone saxophone solo: "Homage to a Lion"

Baritone Sax,solo 小串俊寿

サクソフーン八重奏曲「来音=ライオン」(初演) Saxophone octet: "A Lion"

東京音楽大学サクソフーン・アンサンブル 指揮 小串俊寿

- 13日(日) 橘川琢作曲 詩と音楽を歌い、奏でる 第15回「トロッタの会」  
 橘川琢作曲：組曲「都市の肖像」第三集《The backlight of a time》より  
 【18時開演予定 早稲田奉仕園スコットホール・講堂 3,000円】
- 18日(金) 北川暁子ピアノリサイタル ベートーヴェンソナタ全曲連続演奏会 第6夜  
 第5番 第9番 第14番 第18番 第26番  
 【津田ホール 19:00 一般 5,000円、学生 3,000円 問い合わせ:サウンドギャラリー  
 03-3351-4041】

## 【6月】

- 9日(土) 芝田貞子・嶋田美佐子・高橋順子「平和のためのコンサート」  
 ゲスト：小森香子（詩人）・狭間壮（テノール）・はざまゆか（鍵盤ハーモニカ）講演「青  
 い空は青いままで子どもらにつたえたい」 他  
 【牛込笹塚区民ホール 14:00～ 2200円】
- 12日(火) 深沢亮子 朝日カルチャーセンター 共演：Vn. 中村静香さんと  
 モーツァルト ピアノとヴァイオリンの為のソナタ K.454、ブラームス ヴァイオリンとピ  
 アノの為のソナタ No.1【朝日カルチャーセンター 13:00 問い合わせ：朝日カルチャーセ  
 ンター 03-3344-1945】
- 15日(金) 北川暁子ピアノリサイタル ベートーヴェンソナタ全曲連続演奏会 第7夜  
 第6番 第11番 第12番 第24番 第32番  
 【津田ホール 19:00 一般 5,000円、学生 3,000円  
 問い合わせ:サウンドギャラリー 03-3351-4041】
- 24日(日) ピアノ部会試演会【10:00～13:00 新井宅(西荻窪)】
- 24日(日) 千葉邦楽合奏団定期演奏会—高橋雅光作曲「独奏尺八のための悲」  
 坂田誠山(尺八) 清水フミヒト(舞踊) 演奏【千葉市民会館 14:00】
- 25日(月) 深沢亮子 翔の会 公開レッスン  
 【トモノホール 10:00 問い合わせ：大山喬子 044-966-5224】

## 【7月】

- 7日(土) 声楽部会コンサート 「歌い継ぐ童謡・愛唱歌コンサート」  
 【すみだトリフォニー 小ホール 14:00 2,500円】
- 13日(金) ピアノ部会コンサート  
 【東京オペラシティリサイタルホール 18:30 3,500円 学生 2,500円】
- 14日(土) 深沢亮子 日生劇場ピロティコンサート 共演：永井公美子 (Vn) 植木昭雄 (Vc)  
 シューベルト：ソナチネ No.2、ソナタ「アルペジオーネ」、Pトリオ No.1  
 【14:00 日生劇場 問合せ Fax：F.シューベルトソサエティー 03-5805-6318】
- 29日(日) 深沢亮子 栗栖麻衣子さんとの連弾とソロ  
 【熊谷文化創造館さくらめいと太陽のホール  
 15:00 開演予定 問い合わせ：武田 080-3310-4238】

## 【9月】

- 8日(土) 深沢亮子ピアノリサイタル 共演：ウィーン弦楽三重奏団 E.Sebestyen(Vn) H.Pascher (Vla)  
 A.Skocic(Vc) 吉田聖也 (Cb)  
 モーツァルト:ケーゲルシュタット・トリオ、ベートーヴェン:ピアノとチェロのための  
 ソナタ No.4 シューベルト:ます 【14:00 浜離宮朝日ホール (お問い合わせ) 新演  
 奏家協会 03-3561-5012】
- 21日(金) CMDJ オペラコンサート 2012 「喜歌劇コンサート」  
 【すみだトリフォニー小ホール 18:30～】

23 日(日) 千葉音楽コンクール本選審査【問い合わせ：千葉音楽コンクール事務局 043-227-0055】

29 日(土) 深沢亮子 東邦大学佐倉看護専門学校創立 20 周年記念祝賀会  
【オークラ千葉ホテル 11:00 (予定)】

## 【10月】

7 日 (日) 広瀬美紀子ピアノリサイタル  
ベートーヴェンピアノソナタ第 17 番「テンペスト」・  
ピアソラ (北條直彦編曲)「孤独」他  
【王子ホール (銀座) 14:00 開演 3,500 円】

9 日(火) 定例理事会【日本音楽舞踊会議事務所 19:00 ~】

15 日(月) 「様々な音の風景Ⅹ」～20 世紀以降の音楽とその潮流～  
【すみだトリフォニー小ホール】詳細未定

## 【11月】

18 日(日) 若い翼による CMD J コンサート 5 【すみだトリフォニー小ホール】  
(詳細未定)

19 日 (月) 深沢亮子 「翔の会」公開レッスン  
【10:00 コトブキ D. I センター 問い合わせ：大山喬子 044-966-5224】

## 【12月】

4 日(火) 深沢亮子とその仲間による "ピアノと室内楽の夕べ"  
深沢亮子 (Pf.) 恵藤久美子 (Vln.) 安田謙一郎 (Vc.)  
モーツァルト：ピアノソナタ No.10 C-Dur K.330  
ブラームス：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ No.1 G-Dur  
助川敏弥：Sunset for Violincello and Piano (2011 年 / 初演)  
モーツァルト：ピアノトリオ No.5 K.542 A-Dur  
【音楽の友ホール 17:00 開演 入場料 4,500 円 (会員割引あり)】

15 日(土) 室内楽コンサート シューマン、ドヴォルザーク ピアノ 5 重奏曲  
Pf. 深沢亮子 Vn. 掛橋佑水、井上静香 Va. 中村静香 Vc. 宮坂拓志  
主催 (財) 藤沢市芸術文化振興財団  
【湘南台文化センター市民シアター 16:00 (予定) 問い合わせ：0466-28-1135】

## 2013年 【1月】

27 日(日) 深沢亮子 東金文化会館創立 25 周年記念コンサート  
ソロと室内楽 共演：Va. 中村静香、Vc. 上村文乃  
【問い合わせ：東金文化会館 0475-55-6211】

## 【2月】

18 日(月) 動き、舞踊、所作と音楽Ⅱ  
【すみだトリフォニー小ホール 詳細「未定」】

## 【4月】

5 日 (金) Fresh Concert CMDJ 2013  
【すみだトリフォニーホール 18:30 ~】

## ★ 編集後記 ★

今年は冬の寒さが続き、桜の開花も遅れておりましたが、暖かい陽気に誘われて4月10日(月)の午後、昭和記念公園を散歩いたしました。桜の花が丁度満開でした。

本年は1962年6月に創立した日本音楽舞踊会議の創立50周年の年に当たります。また、2003年3月19日(水)に、新宿角筈区民会館ホールにて第1回を開催した、Fresh Concertの第10回目が開催される年に当たります。

今号は4月13日(金)に、すみだトリフォニーホールで公演される【Fresh Concert CMDJ2012 ~より豊かな音楽の未来をめざして~】の特集号としました。このコンサートも艶やかに咲き乱れる満開の桜並木のように、若々しく華やいだ演奏が聴けるのではないかと楽しみにしております。

今、日本音楽舞踊会議は、新しい会員が徐々に増え、世代交代が進んできております。特にFresh Concertの開催が毎年の恒例となってから、若い会員が増加傾向にあります。しかし、いまだ本会の年齢構成は熟年層と青年層の両極に偏っており、いましばらくは我々のような古い世代に属する人間も頑張っておいて、若い世代にバトンタッチが出来る体制を作らねばならないと考えております。今回のフレッシュコンサートで多くの若い音楽家たちが音楽界に巣立って行き、将来の音楽文化を担ってくれるのを期待したいと思います。

私は、一昨年6月から機関誌『音楽の世界』の編集長としての仕事も加わり、メールマガジンの編集にまでなかなか手が廻らないのが現状です。そういう中で久しぶりにメールマガジンを発行いたします。このマガジンは手作りのささやかなものですが、本会の新しいスローガン『文化創成!』の一翼を担う活動として、『月刊：音楽の世界』ともども、読者の方々と、育てて行きたいと願っております。

編集責任者：中島 洋一

メールマガジン版『音楽の世界』第17号

2010年9月19日 発行

発行：日本音楽舞踊会議 / 月刊『音楽の世界』

The CONFERENCE of MUSIC and DANCE, JAPAN

〒169-0075 新宿区高田馬場4-1-6 寿美ビル305号 TEL&FAX 03-3369-7496

<http://cmdj1962.com/> 新ホームページ (現在移行作業中)

<http://www5c.biglobe.ne.jp/~onbukai/> E-mail: [onbukai@mua.biglobe.ne.jp](mailto:onbukai@mua.biglobe.ne.jp)

編集責任者：中島 洋一

〒190-0031 東京都立川市砂川町 5-36-3

電話&FAX 042-535-3294 携帯電話 090-7904-1726

E-mail: [yoichi\\_n@wa2.so-net.ne.jp](mailto:yoichi_n@wa2.so-net.ne.jp)

※このメールマガジンの写真、画像データ、文書データの無断転載を禁じます。